

次世代 郊外 まちづくり 通信

2014 年 11 月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

〔連絡先〕横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4083

vol.12



次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

【特集】

『次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト』 活動報告会を開催！

秋晴れのさわやかな 2014 年 10 月 4 日（土）たまプラーザ テラス プラーザホールにて、「住民創発プロジェクト ーシビックプライド・プロジェクトー」の最終活動報告会を開催いたしました。

横浜市と東急電鉄が取組む「次世代郊外まちづくり」の中で、リーディング・プロジェクトに位置付けられ 2013 年 8 月にスタートした本プロジェクトは、自分のまちに愛着と誇りを持って行動する企画を、地域にお住まいの方や NPO などの活動団体から広く募集し、講評会を経て 15 の企画を「次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト」として認定したものです。

これまで支援金の交付、専門家によるアドバイス、住民と民間事業者とのマッチングなど、さまざまな方法で横浜市と東急電鉄がその活動を支援してきました。

約 1 年の支援期間の中で、みなさんの活動を通じ、次世代郊外まちづくりが目指す“多世代が支え合う元気で豊かなコミュニティ”の実現に向けた礎になりました。

活動報告会では、これまでの 1 年間の活動について取組み成果を報告するとともに、活動を通じての苦労や気づき・反省点なども発表され、大変熱気あふれる報告会となりました。

今後も、住民創発プロジェクト各企画をはじめ、地域や幅広い関係者とともに、まちづくりを推進していくため、様々な取組みの共有・連携を図る仕組み（ネットワーク）づくりなどを進めていきたいと思っています。



たま プライド

次世代郊外まちづくり
住民創発プロジェクト



『次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト - シビックプライド・プロジェクト -』

当日の発表内容をダイジェストでご紹介します

01：美しが丘カフェ

企画テーマ：「子育て家庭と地域をつなぐ事から始める豊かな
まちづくり」

美しが丘カフェは、茶話会やイベントなどを通じた、子育て支援やコミュニティづくりを目指して取組んできました。住民創発プロジェクトに参加し、地域のいろいろな活動グループとのコラボレーションを意識して、ヨガイベントや、ポットラックパーティー、ダブルダッチ体験会などを開催し、これまでも増して世代を越えたつながりをつくることができました。また、活動場所も、美しが丘中学校の会議室だけでなく、商店街のカフェや美しが丘地域ケアプラザなどに広げたことで参加者層も広がりました。これからも「子育て」をまちぐるみで支える活動を続けていきます。



02：フラッシュモブ実行委員会

企画テーマ：「たまプラー座だよ！全員集合！」まちの人たちでつくる
オリジナルパフォーマンス（フラッシュモブ）の実行

まちなかパフォーマンスを通じて、「まちと人」、「人と人」をつなぎ、地域に関わる人々の「育ちあい」を生み出すことを目指してきました。

2013年11月4日には、たまプラーザ テラス ステーションコートにて「フラッシュモブ」を行い、約150名の地域住民、パフォーマーが参加し、住民同士の繋がりが得られたことを実感しました。続いて、2014年7月25・26日に行った「夏祭りモブ」では、約90名の参加者が商店街をリズムと笑顔でいっぱいにしました。その様子は、PVプロボノの協力を得て製作したドキュメンタリームービーにより、発信します。今後も、このまちの「育ちあい」が広がっていくパフォーマンスを展開していきます。



03：交流の森プロジェクトチーム

企画テーマ：交流の森

地域に愛着を持つ人、働く人、大学、行政、企業が繋がり、まちの人たちの活動を支援するためのプラットフォームづくりを目指して活動してきました。プラットフォームを構成する場・情報・組織の仕組みをつくるため、①「まちの活動を支える拠点を考えるワークショップ」、②「気軽に立ち寄れる場を週1でオープン」、③「地域活動と企業のマッチング」などに取組んできました。

今後は、他の活動グループと連携して、シェアスペースを活用した地域活動のトライアルやITを活用した地域ビジネスのトライアルなどの実験的プロジェクトを通じて、地域活動拠点・情報プラットフォーム・組織を構築していきます。



04：たまプラーザ中央商店街+AOBA+ART

企画テーマ：たまプラナイトウォーク～光でつなげる街の輪～

美しが丘公園ペアツリープロジェクト（イルミネーション）の一環として、公園までの道のりにある商店街での「ミステリーツアー」や、公園での「光の公園」、「ホーリーライブ」を通じて、商店街の活性化やシビックプライドの醸成を目指しました。美しが丘公園を飾ったランタンも「キャンドルワークショップ」で子どもも含め地域の人が制作するなど、総勢420名、13組の協力団体が参加し、みんなが参加できるイベントとなりました。

今年も11月23日～29日の間に「暖かさ」をテーマにたまプラーザ中央商店街主催で実施予定です。



05：株式会社3丁目カフェ（旧称：3丁目カフェ準備委員会）

企画テーマ：コミュニティサロン「3丁目カフェ」をつくる

地域活動団体へ「場所」を提供することで、地域活動の活性化、新たなコミュニティの創出につなげることを目指して取組んできました。そして、コミュニティースペース「3丁目カフェ」が8月4日にグランドオープンしました。心地よいカフェ空間だけでなく、地域の様々な活動や音楽などの演奏もでき、仕事ができるスペースもあります。オープンから3ヶ月、今やすっかりまちの中心となり、地域住民や活動団体、企業などが集い交流する場となりました。

今後は、カフェとしての経営を支えつつ、3丁目カフェを舞台に様々な地域活動やコミュニティビジネスなどの取組みが広がっていくことを目指します。



06 :AOBA+ART2014 実行委員会

企画テーマ：AOBA+ART2014 展

AOBA+ART は美しが丘の住宅街を舞台に新しい発見や交流を生み出してきたアートプロジェクトです。

2014 年は、「AOBA+ART2014 リビング・アーカイヴ展 —作品と暮らす街—」と題し、例年の住宅街を中心としたエリア構成から、駅や遊歩道等に拡大を図りました。この展覧会のポイントは、①散歩しながら気軽に楽しめる作品を街中に展示したこと、②展覧会を通して、街の魅力を外部に発信したこと、③作品を通して街の歴史をアーカイブしたことです。また、展覧会以外の活動として、アーティストやデザイナーとのマッチングによる受注生産事業にも取り組み、店舗のデザインワークなどを手がけてきました。今後も、アートやデザインで、まちづくりに貢献したいと考えています。



07 : あおばフレンズ (LLP 青葉まちづくり活性化協議会)

企画テーマ：地域雇用とまちの安全安心

ウォーキングと地域情報の収集を兼ねた地域密着のポスティング事業により、「雇用創出」「健康づくり」「街の安全安心」の一石三鳥を目指しました。

6 月から事業を開始し、まずは地域に信頼される事業者を目指して、顔と顔がつながる関係づくりに取り組みました。メンバーも徐々に増え、ポスティングを通じて、長年住んでいても、知らなかった発見があったり、いままで気に留めてなかったものに関心を持つようになりました。今後は、地域の方に対する情報発信、“安全安心”に貢献する試みにも取り組んでいきたいと考えています。



08 : 美しが丘 Diamonds

企画テーマ：子どもと地域の交流

美しが丘中学校、美しが丘小学校、美しが丘東小学校を拠点として、子どもが地域の人と交流を持つこと、お母さんだけでなくお父さんや単身者、学生など多様な人と関わりをつくることを目指しました。

ダブルダッチ体験会、フラッシュモブワークショップ、美しが丘中学校「BICUTS」でのエネルギーの授業のコーディネート、お父さんの筋トレ講座の運営など、他の企画と共同で取り組んできました。

今後も、現役働き盛り世代が無理なく楽しく参加できる「健康づくり」や、学校を活用した取り組みなど、できそうなことを続けていこうと考えています。



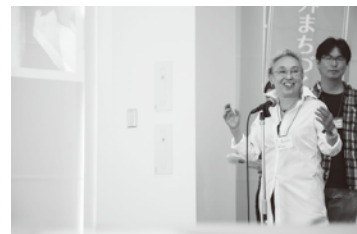
09：オールたまプラーザの健康・コミュニティづくり

企画テーマ：全ての世代の健康増進と多様なコミュニティづくり

働き盛り世代、子育て世代、シニア世代などの多世代を対象に、みんなで健康になれるイベントや講座を企画しました。

高齢者を対象に介護予防を兼ねた「ゆっくり筋トレ・ゆったりストレッチ」、30～50代の男性をターゲットに運動不足の解消と筋力アップを目指した「筋トレ講座」、お子さま連れOKで子育て世代を対象とした「TAMAYOGA（週末青空ヨガとサンセットヨガ）」の3つの企画を通じて、地域に様々な世代のゆるやかなつながりをつくることができました。

今後もゆるやかに続けていきたいと考えています。



10：「たまプ楽食」プロジェクト

企画テーマ：食をテーマとしたたまプラ版御用聞き（コンシェルジュ）

商店街やケアプラザ、他の団体と連携しながら、食の楽しさによって住民同士をつなぐ取組みの実施を目指しました。

6月に行った「Happy Happy モブ食 Day！」は、男性シェフ達がチーム対抗でつくる美味しいランチを地域の子どもから高齢者までみんなで集まって食べました。

最終目標は、このまちの誰もが豊かに暮らし、住み続けたいくなるコミュニティづくりのために地域で支え合うサービスを構築することです。今後は、システムの構築や実験プロジェクトに取り組む予定です。



11：たまプラフレンズ

企画テーマ：住民主導型まちづくりネットワーク・

たまプラ network

まちづくりに参画する人々が、それぞれの思いを共有しつつ、緩やかなネットワークをつくり、活動できるための中間支援を目指してきました。

HPでの情報発信、活動グループ同士の交流、地域との橋渡し役を担い、ワークショップやソーシャルビジネスの勉強会、まちの拠点づくり先進事例の見学会なども実施してきました。

今後も「地域内外のまちづくりグループの活動をつなぐ」「まちづくり活動を広く地域に伝える」「住民創発プロジェクトと既存の地域団体をつなげる企画を立案する」を柱として活動を続けていきます。



12：特定非営利活動法人森ノオト たまプラびと図鑑

企画テーマ：シビックメディア『たまプラびと図鑑』

本づくりはまちづくりという考えをコンセプトに「まちの人とまちの本をつくる」「クラウドファンディングで資金を集める」「たまプラの人材バンクをつくる」「横展開できるノウハウを蓄える」を目標として、「たまプラーザの100人」という本をつくりました。たまプラーザの人を、たまプラーザの人が取材して本にまとめる取組みに多くの市民が参加することができました。

今後もシビックメディアの担い手として、また、本づくりのノウハウを「ソーシャルビジネス」として発展させていきたいと考えています。



13：Loco-working 協議会たまプラプロジェクトチーム（たまロコ）

企画テーマ：たまプラで暮らし、働く ～ロコワーキング～

「暮らす」と「働く」が愛着のある場所ですつながら新しい働き方の実現を目指して取組んできました。地域のリソースをつなげ、かけあわせて「しごと」が地域で循環・発信することを目指し、「たまプラーザの100人」の本づくりの企画から運営に携わったほか、ビジネスモデルとして「Living Labo」の立ち上げの検討やワークショップを行ってきました。また、なんとなく働きたいけど何をきっかけにアクションをおこしてよいかわからないという人の掘り起こしとして、企業との共催で子育てママの復職を考える座談会などを開催してきました。

今後は、「Living Labo」の事業としての立ち上げなどを通じて、地域でしごとをつくることの実践に取組んでいきます。



14：特定非営利活動法人 森ノオト

企画テーマ：たまプラーザ電力プロジェクト

再生可能エネルギーについて住民自らが学び、考え、たまプラーザらしいご当地電力をつくり、展開することを目指して取組んできました。そして、「たまプラエレキラボ」でのワークショップ、美しが丘中学校「BICUTS」での電気の出前授業や「たまプラ電力検討委員会」、「エネルギーアカデミー」での活動を経て、今後の実践の母体となる非営利型株式会社「たまプラーザぶんぶん電力株式会社」を設立しました。

今後は、①エネルギーコンシェルジュ事業、②自然エネルギー発電事業、③スマートコミュニティ事業に取組み、自然エネルギーへのシフトやライフスタイルの見直し、市民電力の創出の実現などを目指します。



15: たまプラ油田開発プロジェクト

企画テーマ：シビックプライドを育むコンパクトな資源循環型 コミュニティを試みる

家庭や学校、商業店舗等で排出される廃食油を回収し、軽油に精製して再利用可能なエネルギー資源にすることを目標に、「捨てないで、その油！使用済み食用油がエネルギーになる」を合い言葉に活動を展開してきました。

地域に「油の回収ステーション」を6カ所(10/4時点)設置することができ、2014年4月から9月までの油の回収量は290kg、これは754kgのCO2を削減した計算になります。

今後は、さらに回収量を増やし、イルミネーションイベントや災害時の非常電源にも役立つ燃料として活用し、将来は発電による売電やコミュニティバスの運行などの事業化を目指します。



1年間おつかれさまでした！



●「次世代郊外まちづくり ラーニングカフェ」のご案内

美味しいドリンクを召し上がりながら、新たなシビック・プライドの醸成に向けた先進的で楽しい事例など、各界でご活躍の専門家の方々から気軽にお話を聞ける場をご用意しました。地域のみなさまと一緒にまちづくりを考える「次世代郊外まちづくり ラーニングカフェ」に、ぜひ気軽にご参加ください。

【第4回】11/25(火)

**これからの時代に必要な力
～創造力とコミュニケーション力～**



石戸 奈々子

NPO法人CANVAS理事長/
株式会社デジタルえほん代表取締役
慶応義塾大学准教授

時間：19:00～21:00(受付開始 18:30)

**会場：3丁目カフェ
(横浜市青葉区美しが丘 1-10-1)**

入場定員：各回 50名
※先着順(事前申込不要)

参加費：各回 1,000円(税込み)
ワンドリンクサービス付き)

お問い合わせ：jisedai@tkk.tokyu.co.jp

主催：横浜市、東京急行電鉄株式会社

【第1回～第3回の開催報告】

■第1回(10/14) 講師：三浦 展
「超高齢化社会を迎える郊外の再生」

■第2回(10/28) 講師：青木 純
「部屋づくりからまちづくりへ。」

■第3回(11/11) 講師：小黒 信也
「街全体でポジティブケア」

※当日の詳細はホームページでも
公開しています

次世代郊外まちづくり リーディング・プロジェクト(2014)の進捗報告

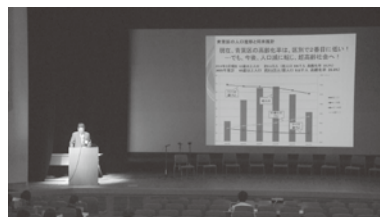
リーディング
プロジェクト
その4

「地域包括ケアシステム」の構築に向けた キックオフイベントを開催しました

次世代郊外まちづくりでは、横浜市青葉区医師会や地域医療機関・介護事業者が参画の元、2012年11月に「医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会」を立ち上げ、リーディング・プロジェクトの一つ、地域包括ケアシステム「あおばモデル」パイロット・プロジェクトを進めています。

2014年10月1日、青葉区における「地域包括ケアシステム」の構築に向けたキックオフイベントとしてセミナーを開催し、350名の医療・介護の専門職の方々に参加いただきました。

このセミナーでは、団塊世代がすべて75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、急増する医療・介護需要に対応するため、地域の医療機関や介護事業者などがどのようにして連携を図っていくべきか具体的な事例を通して紹介するとともに、今後、展開する情報共有システムのデモンストレーションを行いました。当日の様子は次世代郊外まちづくりホームページでも公開しています。



リーディング
プロジェクト
その3

第1回 子ども・子育てタウンミーティングを 開催しました

「まちぐるみの保育・子育てネットワークづくり」の取組みとして、2014年10月21日、「第1回子ども・子育てタウンミーティング」を3丁目カフェで開催しました。

昨年度に実施したヒアリング調査に続き、地域の保育・子育てに関わる約40名の方々にお集まりいただき、世界の先進事例の確認と美しが丘地区での子育てについてワールドカフェ形式で話し合いを行い、様々な意見やアイデアが集まりました。

地域の子育てネットワークの関係者が一堂に介する、大変貴重な機会となりました。

当日の様子は、次世代郊外まちづくりホームページで後日公開します。



※通信に掲載の各内容の詳細はホームページにて公開しています。

<http://jisedaikogai.jp/>



横浜市



東急電鉄